



株式会社 Ashirase

設立年月：2021 年 4 月

所在地：東京都西東京市

公式サイト：<https://www.ashirase.com/>

出資時期：2021 年 6 月

OVERVIEW

会社概要

人の豊かさを " 歩く " で創る

Ashirase 社は、聴覚や手の触覚等視覚障がい者の方々の歩行に重要な感覚を損なわず、単独で自立した外出を可能とする視覚障がい者向けナビゲーションシステム「あしらせ」を開発するスタートアップです。

100 人を超える視覚障がい者の方々へのヒアリングをベースに開発した製品であり、視覚障がい者の歩行に特化したナビゲーションです。音声により目的地を入力し、シューズイン型振動デバイスを取り付け、手や顔に次いで感覚神経の多い足の甲へ振動を与えることにより、スマートフォンを見ることなく、安全な目的地への移動を実現します。



視覚障がい者の単独外出支援の不足

先進国に約 1200 万人、日本に約 **164 万人**存在すると言われている視覚障がい者に対する外出支援は圧倒的に不足しており、自由に外出することにさまざまな制限がかかっております。

ISSUE

社会課題

	タクシー	盲導犬	ガイドヘルパー	家族
各外出支援方法の課題				
物理的課題	利用費 9 割 負担	全国で 1000 頭 のみ	利用制限 週 2 日 程度	家族に多大な負担
心理的課題	簡単に見つけられない	世話がたいへん。犬好きでないと飼えない	趣味で利用しづらい 予約が取れない	気楽に外出を頼めない
COVID-19	密着するため、感染リスクが上がる。ガイドヘルパーさんが辞めてしまう			

日本における視覚障がい者人口



ロービジョン
予備軍
471 万人

全盲+
ロービジョン
164 万人

就労率 **27%** 減少

交通や医療、住宅インフラが整っている場所で生活することの優先順位が高く、仕事や居住地の選択に制限があり、自分の希望する仕事につくことを最初から諦めざるを得ない現状があります。

うつ病リスク **3.5 倍以上**

視力障がい者は、活動機能に問題が見られないことが多いものの、情報の導入の減少から、移動や日常活動などの活動性が低下し、食事や睡眠など日常生活にも偏りが生じやすいです。身体の健康と心の健康は密接に関連しており、活動量が減少することで気持ちもふさぎ込みがちになり、また身体的には可能な行為も他人から特別視されることを恐れて外出しにくくなると言われております。このためさらに活動量が減少し、心の健康も損なわれる負のループが存在します。

Ashirase 社は、聴覚や手の触覚等視覚障がい者の方々の歩行に重要な感覚を損なわず、単独で自立した外出を可能とする視覚障がい者向けナビゲーションシステム「あしらせ」を開発するスタートアップです。

あしらせは、スマートフォンアプリによる音声入力や案内および、お使いの靴につける振動インターフェースで構成されています。

SOLUTION

ソリューション

靴に差し込む振動インターフェース

聴覚、手の次に知覚しやすい足への振動により、向かう方向を直感的に示します。ユーザーは手に白杖以外の何も持つ必要はありません。

声の誘導などに注意を削がれることなくナビゲーション部分を完全に任せることができるため、ユーザーは余裕を持って移動でき、周囲の安全環境にも十分注意することが出来ます。

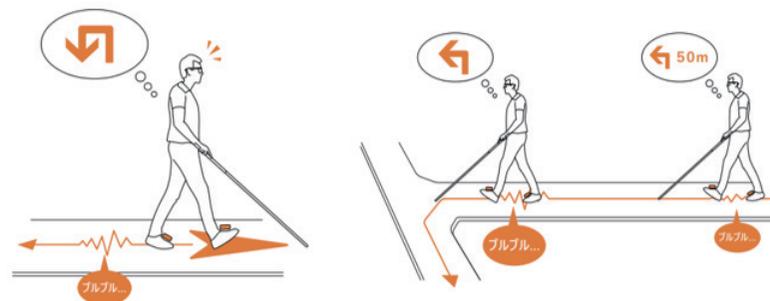
実証実験を行った結果、ルート途中でのナビゲーション確認回数が12回から0回まで劇的に減り、歩行時間も20分から12分に減少しております。



独自アルゴリズムのナビゲーション

既存のスマートフォン歩行ナビゲーションでは、目で見えていないと使用が難しい点がいくつか存在します。あしらせはそれを独自アルゴリズムで解決します。

例えば、方角ではなく、自分の向いている方向に対してどの角度へ進めばいいかの案内や、GPS誤差による不必要なルート抑制を、デバイス内部に持つ複数のセンサにより可能にします

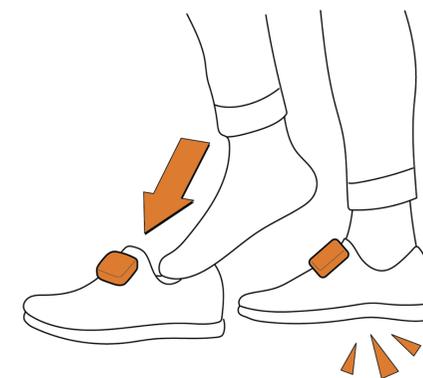


生活に溶け込む UX デザイン

お使いの靴に簡単に取り付けでき、つけたままで脱ぎ履き出来ます。

靴に付けたままなので、付け忘れの心配がありません。充電は簡単なマグネットでの設置であり、また1回2時間の充電で1週間程度の使用が可能です。

その他、さまざまな便利機能をアップデート予定です。



IMPACT STORY

インパクトストーリー

IMPACT STORY は、ASHIRASE が実現したい社会インパクトまでの道筋を分解し、論理的な関係として整理したロジックモデルです。事業の推進に必要な「インプット」、事業の活動「アクティビティ」、結果として生まれるプロダクトやサービス「アウトプット」、サービスの直接的な成果である「初期アウトカム」、中・長期的なポジティブなインパクトを示す「中期アウトカム」「インパクト」までの道程を可視化することにより、ASHIRASE の経営判断に活用し、またASHIRASE の展開する事業の社会的な価値を各ステークホルダーに理解頂くためのものと位置付けております。

